

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 19

2016年1月27日発行



1月の聖句「あなたがたは世の光である」

(新約聖書マタイによる福音書5章14節)

チャプレン 池田 亨

イエスさまのお弟子さんたちは、「自分たちの中で誰が一番偉いか」と口論するような人たちでもありました。けっして、はじめから聖人ではありませんでした。

そんな貧しさや弱さを持つお弟子さんたちに、まことの光であるイエスさまは「あなたがたは世の光」と祝福されました。「世の光になりなさい」とか、「……努力しなさい」とか言いませんでした。私は、そこに励ましと慰めを受けます。

この私たち一人ひとりに対して「あなたの存在自体、すでに世の光」と宣言してくださるイエスさまにおいて、私たちへの根源的肯定を見出すからです。その祝福は、私たちのこころに光を灯します。こんな問題や欠けの多い私でも「世の光」として祝福し、イエスさまは用いてくださるのだと。根源的肯定は喜びあり、私たちを生かします。

♪～うれしいおしらせ～♪

毎日バスに乗ってくれた「澤田 奈菜先生」が、嬉しい嬉しいおめでたで、バスをおりることになりました。これからは幼稚園のなかのお仕事をしてくれます。ピンチヒッターとして、今年なんども聖十字を助けてくれた「高橋 由香里先生」が来てくれました。「学生さん?」と聞かれるほど若く見えますが、安心してください、はいてます!いえ、ベテランです!いい先生方に恵まれて本当に感謝です。

そしてそして、りす組さんの担任だった「青木 純美先生」!12月24日に日付が

変わったその晩に、無事ご出産されました!名前は「柊和くん」。

母子ともに健康で、とてもきれいな男の子です。

かみさま、先生方をお守りくださりありがとうございます。



いろんな個性がいっしょに育つ幼稚園

園長 菊地 和子

岩見沢聖十字幼稚園は、平成27年度文部科学省のインクルーシブ教育システム構築モデル事業のモデルスクールになっています。インクルーシブとは、病気や障がいなどいろんな個性を持った子供たちが共に同じ場で育ちあう教育の形を言います。

当たり前の(理想の?)世の中の幼稚園版とでもいいましょうか、聖十字ではずっと昔からやってきたことなので、ありのままで参加することができました。

日本中にたくさんの優れた実践が

夏には説明会と研修交流があり、日本中から幼・小・中・高校の現場で
がんばる先生方が集まりました。

以前、表彰式前の下村大臣にはお会いしたことがあります。

文科省の建物には初めて行ったので感激でした。
旧官舎だったので堅うござい建筑様式です。

どんな実践の工夫があるか?

より一人一人が育つには…
たさんのが優れた実践が

熱く交流されました。



フィンランド、フランス、韓国の特別支援教育



登園バス、お早めに

今回は一橋大学との国際シンポジウムと
文科省本庁舎でのフィンランドと日本の学校建築について
参加させてもらいました。いずれもインクルージ関連です。

3~4ヶ国語が入り交じり、参加者は同時通訳を
聞けるし、すべての発言が
スクリーンに文字で映し出されます。
「なんでもかんでも一緒に」の時代を
経て、障がいのある子もない子も
すべての子が合理的な配慮を
うけながら共に育つ段階へ入っている
各国の工夫が交流されました。

今年の冬はバス運行も順調に行われています。外で待つのは大変だと思
いますが、バス停にはできるだけ予定時間の5分前にはおいでください。一つのバス停で遅れ
てしまうと、あのバス停で長い時間待つ人が出てしまいます。また、乗らない日の連絡がない
場合もあり、混乱をきたしています。今後、大雪などでご迷惑をおかけすることもあると思いま
すが、最大限努力して運行しますので、どうかみなさんのご協力をよろしくお願いします。

